

イチゴ「いばらキッス」の定植株間は25cmが適する

[要約] イチゴ「いばらキッス」は、株間 25cm で大玉の果実割合が増加し、果実形状が乱れた B 品の割合が減少する。果実糖度は、収穫期間を通して安定して高く推移する。株間 21～25cm の範囲では 10a 当たりの収量に差はみられない。

茨城県農業総合センター園芸研究所	平成23年度	成果区分	普及
------------------	--------	------	----

1. 背景・ねらい

「いばらキッス」は生育旺盛で葉が大きくなるため、「とちおとめ」と同じ株間では密植になり過ぎ、収量・品質の低下につながる危険性がある。そこで、「いばらキッス」における最適な株間を明らかにする。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 株間 25cm における 10a 当たりの株数は 6,350 株で、株間 21cm 7,570 株の 84% に低下するが、「いばらキッス」では株間が広がるほど 1 株当たりの収量が増加するため、10a 当たりの収量に差はみられない。また、株間の違いによる月別収量においても収量差はみられない。「とちおとめ」の 12～1 月の収量および 10a 当たり総収量は、株間 23cm で最も多い。(表 1)。
- 2) 「いばらキッス」における株間 25cm の 10a 当たりの果実数は、株間 21cm より少なくなるが、果実重が増加するため総収量は変わらない。「とちおとめ」も、果実重は株間 25cm が最も大きい、果実数が株間 23cm で多くなるため、総収量は株間 23cm が最も多い(表 1)。
- 3) 「いばらキッス」の 1～3 月における大玉果(15g 以上)の割合は、株間 25cm が多く、「とちおとめ」では株間による差はみられない。また、「いばらキッス」、「とちおとめ」とも、株間 25cm で果実の形状が乱れた B 品の割合が低下し、A 品または正形果の割合が増加する(表 2)。
- 4) 糖度は、「いばらキッス」、「とちおとめ」とも収穫期間を通して株間 21cm で低く推移し、株間 25cm では安定して高く推移する(図 1)。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 「いばらキッス」栽培にあたっては、上記以外に①花芽分化を促すため、育苗中は 8 月 20 日頃を目安に窒素を切る、②草勢が強くなりすぎないように元肥の施用は「とちおとめ」より少なめにする、③日中の管理温度はやや低めにする、④炭酸ガス施用は収量、品質の向上が期待できる、⑤草勢維持を目的とした電照は必要性が少ない、に留意する。

詳細については平成 23 年度栽培マニュアル(暫定版)を参照する。

- 2) 「いばらキッス」は、品種登録出願公表中(出願番号 第 24622 号)である。

4. 具体的データ

表 1 品種および株間の違いと収量

品種	株間 ¹⁾	収量 ²⁾ (g/株)	10a当たり収量 (kg/10a)				果実数 (千個/10a)	果実重 (g/個)	
			12月	1月	2月	3月			計
いばらキッス	21cm	545	292	1,296	1,480	1,057	4,125 a ³⁾	242	17.0
	23cm	553	266	1,183	1,219	1,149	3,816 a	221	17.3
	25cm	629	333	1,139	1,451	1,071	3,994 a	223	17.9
とちおとめ	21cm	344	180	1,140	742	540	2,603 b	170	15.3
	23cm	420	326	1,130	846	598	2,899 c	185	15.6
	25cm	388	201	914	843	504	2,463 b	157	15.7

1) 間口 5.4m のハウス、8 条に定植する場合の株数

株間: 21cm(7,570 株/10a)、23cm(6,900 株/10a)、25cm(6,350 株/10a)

2) 7g 以上の果実収量

3) 統計学的検定法により、異なるアルファベットは処理区間で差があることを示している

耕種概要

育苗: 採苗 7/20、培土 N 0mg、容器 連結トレイ 24 穴、

施肥 7/23、8/11 に固形肥料(N60mg/錠)を 1 錠ずつ施肥: 計 N120mg/株

本ぼ: 定植 9/21、条間 60cm、2 条千鳥植え、ビニル被覆 10/13、マルチ 10/25、暖房設定 8°C

元肥 N15kg、P₂O₅15kg、K₂O15kg/10a、追肥 12/27~3/25 計 N4.5kg、P₂O₅7kg、K₂O7kg /10a

表 2 株間の違いと大玉果率および果実形状

品種	株間	大玉果率 ¹⁾ (%)					規格別割合 ²⁾ (%)		
		12月	1月	2月	3月	計	正形果	A品	B品
いばらキッス	21cm	100	68	57	31	54	64	25	12
	23cm	100	75	54	38	56	63	27	10
	25cm	97	76	58	39	59	64	29	7
とちおとめ	21cm	100	60	27	29	43	36	41	23
	23cm	97	59	38	22	45	32	40	28
	25cm	95	57	40	24	44	47	34	19

1) 2L (15g) 以上の果実割合

2) 7g 以上の果実収量、正形果: 品質形状良好なもの、A 品: 形状がやや劣る 11g 以上のもの、

B 品: 形状が劣るもの (茨城県青果物標準出荷規格に準ずる)

耕種概要は表 1 に準ずる

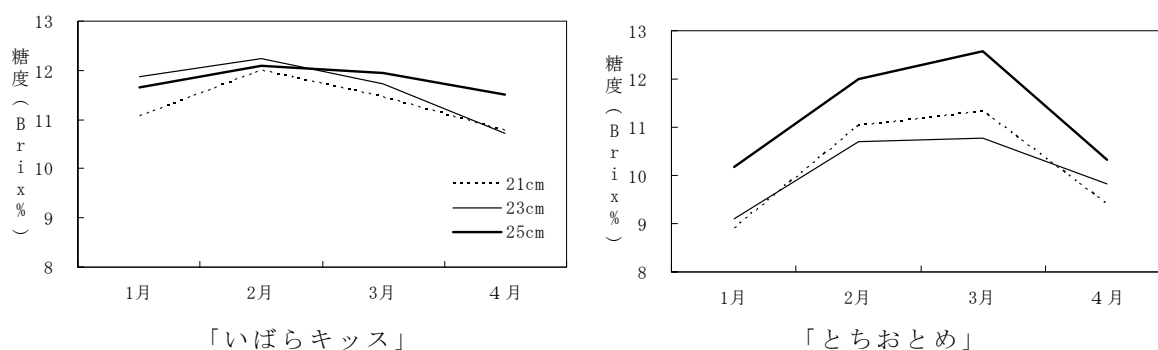


図 1 株間の違いと果実糖度の時期別推移

* 果実全体を潰して果実毎に測定

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

イチゴ生工研育成系統「いばらキッス」の栽培技術確立・平成 22 年度・野菜研究室